

# 環境への取り組み

理想科学は、事業活動の全般を通じて、さまざまな環境負荷の低減に取り組んでいます。



## 開発・生産拠点で

### 孔版インクでは世界初の ライスインクを開発

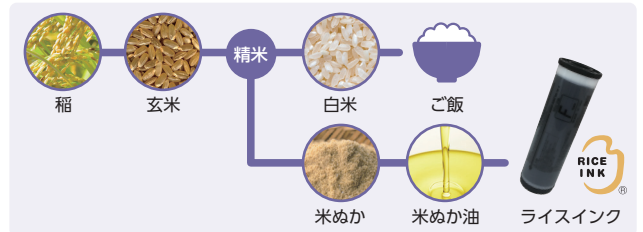
理想科学は、環境に配慮した製品の開発に継続して取り組み、この度、孔版インクでは世界初となる米ぬか油を使用したライスインクを開発しました。

ライスインクはこれまで廃棄されていた米ぬか部分を有効活用し、食料を減らすことなくインクの原料を確保することで社会や環境への配慮につながっています。

また、ライスインクは、国産の米から取れる米ぬかを原料としています。同じ植物を原料とする大豆油インクが原料の大豆を海外から輸入しているのに比べ、原料の輸送距離が短く、輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出量が削減できます。

※ライスインクは2016年8月より販売。

### ● ライスインク製造プロセス



### ● 輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出量

[大豆油インクの場合]



[ライスインクの場合]



※原料を原産地から当社インク工場まで輸送した場合の比較。  
数値は当社調査により算出。



## 調達・物流で

### 生物多様性を保つ木製パレットを使用

製品輸送に使用する木製パレットには害虫が潜んでいることがあり、特に海外輸出時は害虫が輸出先の国で繁殖し、生態系を乱すリスクが指摘され、国際基準で「防疫上適切な処理を行った木材を使用」することが求められています。当社は、熱処理もしくは燻蒸処理によって害虫が駆除されたパレットのみを使用しています。



熱処理のマーキングが施された  
パレット

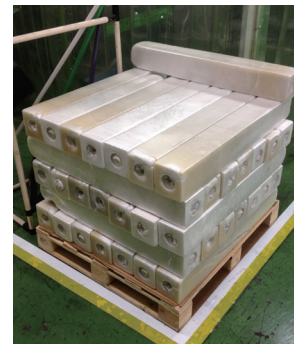
### 製品梱包用発泡スチロールをリサイクル

製品の梱包などに使用した発泡スチロール製の緩衝材をリサイクルし、再資源化する取り組みを進めています。

回収した発泡スチロールは、電熱式の溶融機によって減容化され小さな塊(インゴット)となり、原材料としてプラスチックメーカーに出荷。そこで再び新しい発泡スチロールやプラスチック製品に加工されています。



溶融機



100分の1に減容化されたインゴット



## 営業サービス活動で

### 使用済みインクボトルで販促品を作成

理想科学では、当社の環境保全活動を広く認識していただき、使用済みインクボトルの回収にご協力いただくため、インクボトルをリサイクルしたバスケットやダストボックスなどの販促品を作成し、ユーザーの皆様にご提供しています。これらの販促品には、ボトル再資源化の流れを示したシールを貼付し、ボトル回収への協力を呼びかけています。



70ℓのゴミ袋対応ダストボックス



用具入れとしても便利なバスケット

### 使用済み製品・部品のリユースパーツ化

当社は、使用済みの製品も貴重な資源と考え、廃棄物削減と資源の有効活用に取り組んでいます。例えば、修理の際に交換したユニットの一部は当社のパーツセンターで回収・再生処理しています。品質検査を経て、再度市場で利用されています。

2015年度は、回収した使用済み製品や交換したユニット部品などのリユースパーツ化の拡大とその利用促進に積極的に取り組みました。



リユースパーツ

理想科学について

特集

環境への取り組み

社会とのかわり

海外での取り組み

環境マネジメント / マネジメント

Webサイト掲載情報 / 第三者審査報告書



## 事業所で

### ライトダウンキャンペーンに参加

当社は、環境省が地球温暖化防止の一環として毎年夏に日本全国で実施している「CO<sub>2</sub>削減／ライトダウンキャンペーン」に賛同し、毎年参加しています。

2015年度も夏至の6月22日およびクールアース・デーである7月7日の2日間、午後8時から10時までの2時間にわたり、筑波事業所と宇部事業所で一斉消灯を実施しました。



ライトダウンキャンペーンポスター

### クールビズの実施

省エネによる温暖化対策として、電機・電子関係の業界団体が定めた行動指針に則り、毎年夏には、冷房温度を28℃とするとともに軽装での執務を奨励するクールビズを実施しています。

また、当社を訪問されるお取引先にも軽装での来社をお願いするとともに、告知・啓発用のポスターを作成し、社員一人ひとりの参加意識を高めています。



COOLBIZ ポスター